

関西広域連合(仮称)について

先の2月議会で、我が会派の質問に答弁を頂きましたが、それを受けて関西広域連合(仮称)についてお聞きします。私たちは、本年1月8日の関係府県知事会議での議論の内容についてお伺いし、各府県の2月県議会で議論を深めるとの合意がなされた旨の答弁をいただきました。また、関西広域連合には、防災や観光、環境政策などの分野で、住民福祉の向上や県民の命を守り、未来への安心を埋め込むという観点からも、大きな意義があると考えておられることをお聞きしました。

1点目に、2月議会では他にも多くの議員から質問が出され、また地方分権・行財政対策特別委員会でも熱心な議論が行われましたが、この2月県議会での議論を踏まえて、広域連合の意義・効果などについて、現時点でどのように考えておられるのか、知事にお伺いします。

2点目に、2月県議会で、県民や市町、経済団体への説明を行うとのことであったが、その後、どのような取組を行ってきたのか。また、それに対する反応について、どのように受け止めているのか、知事にお伺いします。

3点目に、政府では、国の出先機関の見直しに関する基本的な考え方を、夏に策定予定の地域主権戦略大綱に盛り込むべく、事務仕分けの公開討論が行われるなど取組が進められている。

一方、地方には、事務権限の受け皿の整備が求められているが、関西広域連合が国の権限の受け皿となり得ると考えているのか、知事の見解をお伺いします。